

弘前市立博物館 ニュースレター

No.2

令和5年7月号

Hiroaki City Museum Newsletter

■特別企画展1「隙あらば猫～町田尚子絵本原画展～」終了の挨拶

7月2日(日)をもって、今年度1回目の特別企画展「隙あらば猫」が終了しました。おかげさまで好評を博し、会期中6,000人あまりのお客様にご来館いただきました。誠にありがとうございます。

今回の特別企画展は絵本原画をテーマとしたことで、普段博物館にあまり来られない方々にもご利用をいただきました。物販も大好評をいただき、おかげ様でポスターは会期中に売り切れとなり、図録も多くの皆様にお買い求めいただきました。

今後も弘前市立博物館ではいろいろな企画展を催し、市内外の皆様に広くご来館いただける博物館づくりを進めてまいります。

(館長 熊谷)

■「隙あらば猫」担当学芸員より

今回の展覧会は、弘前市立博物館としては珍しい絵本原画展でした。隙あらば描かれるかわいい猫たちに、大人も子どもも、みんなが楽しめる展覧会になったのではないかと思います。

特に子どもたちは、自分が知っている絵本の原画が見られて大興奮。知らない絵本は「これを読んでみた

い」などの声も聞かれて、担当学芸員としては嬉しい限りでした。



▲「隙あらば猫」ポスター



▲朝陽小学校見学のようす

多くの学校からも見学にいらしていただきました。特別で楽しい時間を過ごしてもらえたようでした。

(「隙あらば猫」担当学芸員 小田桐)

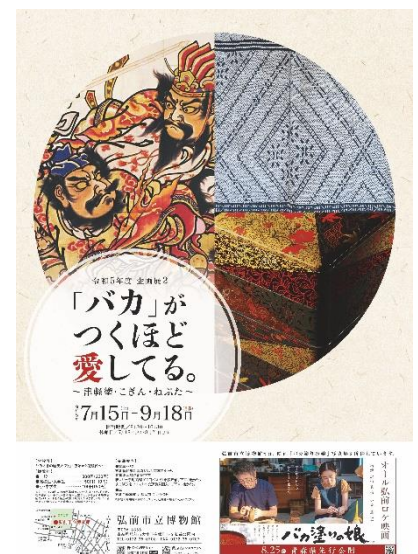
■企画展情報

企画展2「『バカ』がつくほど愛して

る。～津軽塗・こぎん・ねぶた～」

会期:7月15日(土)～9月18日(月・祝)

休館日:7月18日(火)、8月21日(月)



▲「『バカ』がつくほど愛してる。」ポスター

「バカ」というと、悪いイメージを持たれる方も多かもしれません。しかし、津軽では、半ば呆れて、また、親愛の表現として「バカ」がつくほど愛してやまないものへの情熱を持った人々を「ねぶたバカ」などと表現します。言われた方も、誉め言葉としてそれを受け取る文化があるように思うのです。

今回はその中からも、津軽塗・こぎん刺し・ねぶたの3つを取り上げて展示しました。ひたむきにつくりあげられた「バカ」たちの仕事を見て

もらえたらと思います。
(『バカ』がつくほど愛してる。)担当学芸員 小田桐)

■貸出中だった「張良・秋山水図」の返却がありました

6月29日に神奈川県立歴史博物館さんへ貸し出していた「張良・秋山水図」をご返却いただきました。貸出中は同館令和5年度特別展「あこがれの祥啓一啓書記の幻影と実像」(会期:4月29日～6月18日)にて展示されていました。

この資料は長州藩主毛利家の旧蔵品とされ、現在二幅一組の資料として当館では収蔵していますが、外箱のつくりなどから冬山水図を加えた三幅対の資料だったものと考えられます。東京国立博物館の所蔵品にはこれらを写して制作したと思われる三幅対が現存しています。

これまで当館ではこの資料を室町時代の画僧である祥啓の作品と推定していましたが、今回の貸し出しに伴う調査で資料の年代は桃山時代～江戸初期に祥啓の表現方法を踏まえて描かれたものとみられることがわかりました。

さらに、張良図と秋山水図の制作年代にも違いがあり、張良図だけが先に制作されたものと判断されます。他の現存する祥啓画には三幅対の作品はほぼないようです。したがって、張良図以外の二幅は張良図と合わせて三幅対とするために後で制作されたものと考えられます。三幅対に仕立てた背景として、同時期に各地の大家家で所有した狩野派

ほかの絵画が三幅対で伝わる状況があります。この資料からは、祥啓画が大家の道具として重宝されていたことをうかがい知ることができるのです。

(主事兼学芸員 工藤)



▲「張良・秋山水図」(当館蔵)



▲資料返却の様子。先方と当館職員で状態確認をします。

■出前講座を実施しています

弘前市役所では市政へのご理解を深めていただく広報事業として出前講座を行っています。そのプログラムのうち「津軽為信・信枚・信義～津軽家3代の歴史～」と題した講座は博物館が担当課として実施しています。

今年度はこれまでに4回実施し、当館学芸員が館外の会場をお訪ね

しました。実施した団体からはありがたいことに好評をいただいております。

テーマの津軽家3代を中心に、ご希望があれば特定の分野を詳しくお話するなど個別のリクエストも受け付けています。市内在住・通勤・通学の方5名以上の団体であればお申し込みができます。ぜひご利用をご検討ください。

【申込先】弘前市役所 広報課
(電話 35-1194、FAX 35-0080、メール kochokoho@city.hirosaki.lg.jp)

※「津軽家3代の歴史」のプログラム内容についてのお問い合わせは博物館でも回答可能です。ご関心をお持ちの方はぜひご相談ください。

(主事兼学芸員 工藤)

■instagram&Facebookでも博物館情報発信中！

博物館では、広報活動の一環として公式 instagram(@hirosaki_city_museum)と公式 Facebook(以下 URL 参照)を開設し、情報発信に力を入れています。主に企画展示や展示資料・館蔵資料に関する話題や、博物館がある弘前公園内の季節ごとの情報をお届けしています。広報担当の励みになりますので、ぜひたくさんフォロー＆いいね！をください！！ (主事 児玉)

【博物館 Facebook の URL
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100093599492199>】